



JSSスイミング
スクール
生徒 約30名

ワークショップ 木製椅子作り体験



施工事例紹介

リフォーム工事を担当した、設計の川井さんと不動産事業部の長田さんにインタビュー！工務店を本隊とした、不動産営業本部は、売買や賃貸だけでなく新築・リフォームの提案も行っており、土地・家屋の購入から修繕まで一貫して、お任せできるのがいいですね。

担当者に直撃

建設部本部長
設計課・工事監理課
かわい ようじ
川井 陽二さん

物件名 山本様邸 完成時期 2024年3月

お客様のご要望

あこがれの薪ストーブのある生活

- ① 別棟にある浴室を母屋のどこかに確保したい
- ② 寒さ対策を行いたい（窓対策・網戸）
- ③ 薪ストーブが設置できるようにしてほしい
- ④ キッチンをリフォームしたい

ご要望へのご対応

ご希望に沿った施工ができるよう入念に手法を模索

お施主様のイメージに合わせて、私が提案したことは① 浴室を新設するのはユニットバスが維持管理上優れていることと、配置場所については、脱衣室・洗濯機置場も設けるのである程度のスペースが必要だったため、住まい方において影響が少ない旧玄関にすることを提案しました。② 窓については2箇所窓の寒さ対策を希望されておりましたので、効果的なものとして内窓の設置と補助金の提案をさせていただきました。③ 薪ストーブの煙突については、建物が全体的に低く、壁から煙突を出すことが出来なかったためやむを得ず既存の瓦屋根から煙突を抜く方法しかなく、それでもご希望に添えるように、施工方法を社内で何度か打ち合わせをしました。雨漏り対策に対しては特に注意して施工しました。



こだわりの新しいキッチン

リフォームを検討中のお客様へ

今回内窓の施工が2箇所ありましたが、窓リフォームには今年も補助金があります。今、リフォームなど計画している方は、窓リフォームを実施すると省エネ・省CO2加速化支援事業（先進的窓リノベ2024事業）の補助金があり、工事も安くでき、これから生活の中での光熱費は削減もでき、お得なタイミングだと思います。補助金には予算がありますのでお早めに。



内窓サッシを設置した窓



施主さまがDIYされたレンガ造りと薪ストーブ



移住からリフォームまでの経緯

常務取締役執行役員
不動産営業本部長 長田 郁彦

昨年7月ごろ、「4月入学に間に合うように、本年3月を目途に、大阪から土佐町へご家族で移住される方がいるので、リフォームの相談にのってあげてほしい」といよいよ田舎暮らしネットワークの佐藤さんから電話をいただきました。土佐町への移住を希望する、山本様ご家族とお会いしたのが2023年8月。屋内にお風呂を新たに設置し、キッチン进行今様のタイプへ変更し、暖かい部屋になるよう部分的な窓の改修を希望、薪ストーブのある洋室や囲炉裏のある和室にしたい等、旧家を大幅にリフォームするご要望でした。大阪から西方面にある暖かい地域への移住を考えていた山本様は、「笹のいえ」のBLOG購読者でも

ありました。そのサイトからいよいよ田舎暮らしネットワークの存在を知り、大阪梅田の移住フェアに参加、迷うことなく、高知県嶺北地域への移住を決断されて今に至ります。都会からの移住には苦勞もあると思いますが、いつお会いしても笑顔が素敵なお家族です。私は、屈託なくいつも陽気な長男「りょうま」君に会うのが楽しみです。土佐藩士の「龍馬」ではなく、山登りが好きなご家族ゆえに稜線から「稜真」と命名したと伺いました。稜真君はいつ会っても元気なピカピカの土佐小一年生です。

リフォームにあたり選択された機器は、山本様が大阪のショールームで選定されたこだわり製品であるキッチン、ユニットバスと洗面化粧台となっています。窓の改修は、インプラスを利用した内窓施工で、窓リノベの補助金を活用しています。薪ストーブの背面はご主人が褐色のレンガを綺麗に積んでDIYで造られました。嶺北に移住された山本様、嶺北の自然と人とのつながりを満喫されると思います。今後とも永いお付き合いをよろしくお願いいたします。りょうま君へ、夏には汗見川で一緒に泳ごう。



顔が見える家づくり
有限会社 藤川工務店

住まいの相談 新築・賃貸・リフォーム・土地情報・モデルハウス公開

お問い合わせ
TEL.0887-76-2016

詳しくはWEBサイトを
ご覧ください。

藤川工務店 高知 検索

〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山365 FAX:0887-76-4158 【営】8:30~17:00 【休】日曜、祝日 <https://www.fujikawa3.com/>





SDGs 持続可能な街づくり

浄化槽を導入して美しい水環境を守ろう

浄化槽って？

浄化槽とは、生活雑排水やし尿を微生物の働きにより分解し、放流する設備です。(※1)

わたしたちは毎日の生活の中で、たくさんの水を使用しています。その水の多くは最終的に汚水となって川や海へと流れて行く為、何も処理されず放流されると水質汚濁がすすみ、環境は破壊される事になります。この為、美しい水環境を守るため、汚水を処理し、きれいな水を取り戻すために設置する設備が浄化槽です。

浄化槽の種類

浄化槽には大きく分けて、単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の2種類があります。どちらも、微生物の力をかりて、汚水を分解し、きれいな水にしています。

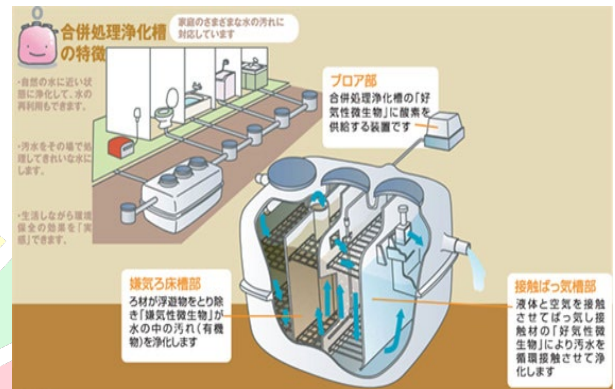
・ 単独処理浄化槽

トイレの水(し尿)だけを処理します。

(浄化槽法では、平成13年4月から下水道認可区域内に設置される場合を除き、単独処理浄化槽の設置が禁止されています。)

・ 合併処理浄化槽

トイレの水と台所、選択、洗面に使用した生活雑排水を合わせて処理します。合併処理浄化槽は単独処理浄化槽と比べて放流される汚れが8分の1になります。



※1. 合併処理浄化槽の特徴: 出典: 環境展望台

浄化槽の維持管理

浄化槽は、微生物の働きを利用した汚水浄化装置ですから、微生物が活動しやすい環境を保つように維持管理することが大切です。適正な維持管理が行われないと、浄化槽の機能が低下し、周りの環境を汚してしまいます。このため、浄化槽管理者には、保守点検・清掃・法定検査を定期的に行うこと(浄化槽法)が義務付けられています。

・ 登録業者による保守点検

保守点検は、浄化槽の運転状況の点検・装置の調整・修理・消毒剤の補充などを行います。市町村の登録を受けた保守点検業者に委託することができます。

・ 許可業者による清掃

清掃は、浄化槽内にたまった汚泥の引き出し・汚泥の調整・装置の洗浄などを行います。市町村の許可を受けた浄化槽清掃業者に委託することができます。

・ 指定機関による法定検査

設置された浄化槽が適正に機能しているかどうかを確認するため、使用開始後、3~8ヶ月の間に1回、その後は1年に1回、県の指定する検査機関による水質検査を受けなければなりません。

一般財団法人高知県環境検査センター (電話番号: 088-860-2400) に依頼してください。



高知県本山町の浄化槽の総数は総数約700機(単独処理浄化槽約140機、合併処理浄化槽約560機)
(令和5年3月31日時点)

平成4年度から補助金制度が開始して以来、約420機分が補助金を利用し設置されています！

本山町では、現在、汲み取り便所もしくは単独処理浄化槽をご利用の方が、合併処理浄化槽に転換する場合や新しく合併処理浄化槽を設置する場合、設置費用等を補助する制度を実施しています。

是非、この機会に補助制度を活用していただき、合併処理浄化槽への転換をご検討ください。



SDGs 持続可能な街づくり

浄化槽整備の補助金について

【 本山町 】 令和6年度合併処理浄化槽整備事業補助金について

【目的】

この補助金は、生活排水による水質汚濁の防止と快適な生活環境の創造を図るため、合併処理浄化槽の設置費に対し補助を行うものです。

【対象】

令和6年6月1日～令和7年2月28日までに浄化槽を設置される方

【補助限度額】

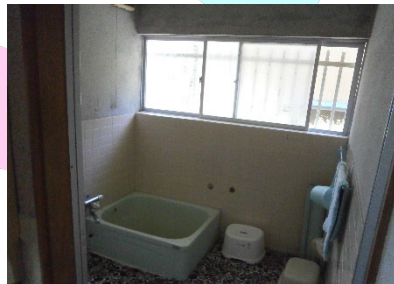
5人槽(住宅延べ床面積=130平方メートル未満)	332,000 円
6～7人槽(住宅延べ床面積=130平方メートル以上)	414,000 円
8～10人槽(住宅延べ床面積=130平方メートル以上)	548,000 円



これに加えて、新築の場合20万円、改築の場合40万円の補助金があります。また、現在使用している単独処理浄化槽を撤去し合併処理浄化槽へ替える場合、9万円の補助金があります。

【例】 浄化槽を設置することで汲み取り式のトイレを水洗トイレに変更し、お風呂・キッチンの水回りもリフォーム

Before After



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



藤川工務店は事業活動を通じてSDGsへ取り組んでいます



顔が見える家づくり
有限会社 藤川工務店

住まいの相談 新築・賃貸・リフォーム・土地情報・モデルハウス公開

お問い合わせ
TEL.0887-76-2016

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
藤川工務店 高知 検索



〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山365 FAX:0887-76-4158 【営】8:30～17:00【休】日曜、祝日

https://www.fujikawa3.com/



木こり体験レポート

嶺北地方、本山町の山の中より



「間伐」は今、日本のそして世界の環境問題のキーワードです。お子さまの人生でおそらく最初の自分だけの家具である学習机に「間伐材の学習机」を選ぶこと。それは自分の行動が環境や雇用の問題に、また世界のマーケットとつながっていることをお子さまが知る最初の一步になります。

間伐はなぜ必要なの？

間伐をしないと、木が成長するにしたがって森の中が混み合い、隣り同士の枝葉が重なり、互いの成長を妨げるようになります。その結果、山の木は光が十分行き届かなくなり、根が痩せ、ヒョロツとした木になります。痩せた木の、痩せた根は、土壌をしっかりとかきかきと押さえておく力がなく、雨がふると土砂崩壊などの大きい災害につながってしまうのです。

学びの最初の一步にこの間伐材の学習机と出会うことは、このような問題がお子様にとって「自分にも深い関係のあることなんだ」と向き合う機会にもなります。間伐により山が手入れされ、水や養分をきちんと蓄えることで、川が保たれ、田畑が耕せ、海の魚介類や改装も生きていける。この「山＝川＝海＝人々のゆたかな生活」のつながりをぜひ次世代を担う子どもたちに伝えていきたい。そんな、想いをこめて「6歳になったら机をつくろう」活動を続けています。

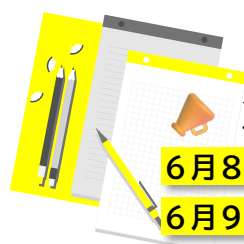


高知県 嶺北の山で育った杉の間伐材の机です



一つひとつ手作りの国産100%の机です

《木こり（間伐材の伐採）から学習机づくりを行っています》



次回のイベント

6月8日(土) 木工体験！

6月9日(日) 春の収穫祭！

7月6日(土) 木工体験 本棚づくり

7月7日(日) 木工体験 いす作り

📍 ショールーム見学・不動産講座も同時開催

詳細は「藤川工務店HP」「いこーよ」をご覧ください

